



# 平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年12月5日

上場取引所 大

上場会社名 神島化学工業株式会社

コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 小田島 晴夫

TEL 06-6110-1133

四半期報告書提出予定日 平成23年12月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年4月期第2四半期の業績(平成23年5月1日～平成23年10月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	8,803	—	444	—	364	—	244	—
23年4月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	26.63	—
23年4月期第2四半期	—	—

(注)平成23年4月期第2四半期は連結で開示しております。このため、前第2四半期連結累計期間との比較は記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
24年4月期第2四半期	15,832	—	4,371	—	27.6	476.94		
23年4月期	16,582	—	4,190	—	25.3	457.13		

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 4,371百万円 23年4月期 4,190百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年4月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年4月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年4月期の業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	0.4	900	3.7	700	3.9	400	5.8	43.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年4月期2Q	9,240,000 株	23年4月期	9,240,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年4月期2Q	75,199 株	23年4月期	72,397 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年4月期2Q	9,166,262 株	23年4月期2Q	9,169,873 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. (参考) 前四半期に係る四半期損益計算書 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による原発問題、それに関連した電力不足の問題が発生し、更に欧州や米国の金融不安に端を発した急激な円高・株安が進行する等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場におきましては、3月の東日本大震災による東北地区における影響は徐々に解消し、また政府による各種住宅取得支援政策にも下支えされ、平成23年4月から9月までの新設住宅着工戸数は432,760戸（対前年同期比6.1%の増加）と比較的堅調に推移しました。

このような経済・経営環境の中、売上高は8,803百万円、営業利益は444百万円、経常利益は364百万円となり、四半期純利益は244百万円となりました。

なお、前年同四半期は、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同期比較は行っておりません。

セグメント別の業績は次の通りであります。

建材事業におきましては、震災後の日本経済の復興に貢献すべく全社一丸となり生産体制の効率化に取り組んだことなどから、売上高は6,458百万円、セグメント利益（営業利益）は349百万円となりました。

化成事業におきましても、国内売上は震災による影響は少なく、海外輸出売上は円高による影響を最小限に留めたことなどから、売上高は2,345百万円、セグメント利益（営業利益）は304百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間の総資産は15,832百万円となり、前事業年度末（以下前年度）に比べ750百万円減少いたしました。このうち、流動資産は9,012百万円と前年度に比べ576百万円減少いたしました。主な増減要因は、前期末日が休日であったことにより現金及び預金295百万円減少、受取手形及び売掛金223百万円減少によるものであります。

また、固定資産は6,819百万円となり前年度に比べ173百万円減少いたしました。主な増減要因は、償却などにより有形固定資産160百万円減少によるものであります。

負債につきましては、負債合計11,461百万円と前年度に比べ930百万円減少いたしました。主な増減要因は、1年内返済予定の長期借入金179百万円減少、前期末日が休日であったことによる支払手形及び買掛金660百万円減少、設備関係支払手形96百万円減少によるものであります。

純資産につきましては、純資産合計4,371百万円と前年度に比べ180百万円増加いたしました。主な増減要因は四半期純利益244百万円、配当金の支払55百万円により利益剰余金が189百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ295百万円減少し、当第2四半期会計期間末には1,506百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は469百万円となりました。

主な増加要因は、税引前四半期純利益354百万円、減価償却費452百万円、売上債権の減少額223百万円によるものであります。また、主な減少要因は仕入債務の減少額660百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は532百万円となりました。

主な増減要因は、有形固定資産の取得による支出521百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は232百万円となりました。

主な増減要因は、長期借入れによる収入1,000百万円、長期借入金の返済による支出1,146百万円、配当金の支払額55百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年4月期通期の業績につきましては、当第2四半期業績（累計）が当初想定以上に堅調に推移したものの、下期に、引続き欧州や米国の金融不安に端を発した円高による経済減速、政府の各種住宅支援策の縮小等も見込まれていることから、景気の先行きは不透明さを増しており、平成23年6月10日公表の業績予想を据え置く事と致します。

今後の動向を慎重にフォローの上、業績予想の見直しが必要となった場合には速やかに予想修正いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,802	1,506
受取手形及び売掛金	4,561	4,338
商品及び製品	1,936	1,969
仕掛品	420	452
原材料及び貯蔵品	560	546
繰延税金資産	253	146
その他	88	83
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	9,589	9,012
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,282	2,226
機械及び装置（純額）	2,372	2,094
土地	1,252	1,252
その他（純額）	159	332
有形固定資産合計	6,067	5,906
無形固定資産	45	42
投資その他の資産		
投資有価証券	470	457
繰延税金資産	308	318
その他	172	172
貸倒引当金	△70	△76
投資その他の資産合計	880	870
固定資産合計	6,993	6,819
資産合計	16,582	15,832

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,194	2,534
短期借入金	1,890	1,860
1年内返済予定の長期借入金	2,075	1,896
未払金	664	597
未払費用	195	187
賞与引当金	198	206
設備関係支払手形	150	54
その他	71	122
流動負債合計	8,440	7,458
固定負債		
長期借入金	3,126	3,159
退職給付引当金	755	772
役員退職慰労引当金	67	68
その他	2	1
固定負債合計	3,951	4,002
負債合計	12,392	11,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,078	1,078
利益剰余金	1,870	2,059
自己株式	△25	△26
株主資本合計	4,243	4,431
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△52	△60
評価・換算差額等合計	△52	△60
純資産合計	4,190	4,371
負債純資産合計	16,582	15,832



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
売上高	8,803
売上原価	6,396
売上総利益	2,407
販売費及び一般管理費	1,963
営業利益	444
営業外収益	
受取配当金	9
破損損害金	8
雑収入	7
営業外収益合計	24
営業外費用	
支払利息	84
雑支出	19
営業外費用合計	104
経常利益	364
特別損失	
固定資産除却損	5
固定資産処分損	4
特別損失合計	9
税引前四半期純利益	354
法人税、住民税及び事業税	9
法人税等調整額	101
法人税等合計	110
四半期純利益	244

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	354
減価償却費	452
固定資産除却損	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1
受取利息及び受取配当金	△9
支払利息	84
売上債権の増減額 (△は増加)	223
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△51
仕入債務の増減額 (△は減少)	△660
その他	113
小計	536
利息及び配当金の受取額	9
利息の支払額	△83
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	469
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△521
無形固定資産の取得による支出	△12
その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30
長期借入れによる収入	1,000
長期借入金の返済による支出	△1,146
配当金の支払額	△55
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△295
現金及び現金同等物の期首残高	1,802
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,506

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)

第2四半期累計期間においては、当社グループ(当社及び連結子会社)のセグメント情報を開示しており、当社のセグメント情報は開示していません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	建材事業	化成品事業 (注)1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,458	2,345	8,803	—	8,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,458	2,345	8,803	—	8,803
セグメント利益	349	304	653	△209	444

(注)1 第1四半期累計期間より「工業薬品事業」から「化成品事業」に事業名称を変更しております。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△209百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△209百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)

該当事項はありません。

## 4. (参考) 前四半期に係る四半期損益計算書

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## 四半期損益計算書 (個別)

## 【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)
売上高	8,002
売上原価	5,759
売上総利益	2,243
販売費及び一般管理費	1,793
営業利益	449
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	9
破損損害金	6
雑収入	8
営業外収益合計	27
営業外費用	
支払利息	100
雑支出	20
営業外費用合計	121
経常利益	355
特別利益	
受取保険金	4
投資有価証券売却益	1
特別利益合計	6
特別損失	
投資有価証券評価損	107
役員退職慰労金	41
固定資産除却損	7
特別損失合計	157
税引前四半期純利益	205
法人税、住民税及び事業税	70
法人税等調整額	51
法人税等合計	121
四半期純利益	84